

(様式 5-2) 地域重点施策推進事業 事後評価調書(平成25年度実施分)

地域振興局名 : 雄勝地域振興局

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	高橋 邦武	地域企画課	地域振興班	佐藤 正志	0183-73-8191	「ゆーとびあ情報」広報推進事業	振興局の広報機能を強化・補完するため、地元ラジオ局を活用し情報発信を行う。各種事業への参加募集や、災害時などの緊急的な情報提供などにも随時対応できる形で活用を図る。	82,950	直営	コミュニティFMを活用し、振興局が実施する各種事業への参加募集や事例発表のほか、災害時などの緊急的な情報発信を行った。	県	地域住民	平成25年5月7日	振興局実施事業の紹介や、除雪による事故防止、除排雪への協力の呼びかけなど、地域に密着した情報媒体としての機能を果たした。	ラジオのリアルタイム性を活用した効果的な情報提供を今後も継続していく。
						平成25年5月17日～平成26年3月31日									
農林部	中村 章	農業振興普及課	担い手・経営班	阿部 浩	0183-73-5181	実需者ニーズに対応した「せり」9月どり栽培技術の現地実証事業	湯沢市特産のせりについて、実需者からの9月出荷のニーズに対応するため、夏秋どりの品質向上技術の現地実証を行い、地域適応性を明らかにする。	280,000	委託	三関せりの栽培において、日長時間を制限するとともに、高温時に散水チューブを用いた葉面散水を実施し、9月どり技術の確立に向けた現地実証を行った。	県	農業生産者	平成25年6月17日	実証の結果、9月に出荷可能なせりを収穫できることがわかり、改善点を含めた次年度以降の技術確立に向けて実証担当農家の関心が高まった。また、周辺生産者の9月どりへの関心も高まった。	今回の実証結果をふまえて、今後も9月どりの生産拡大を図っていく。平成26年度は本庁所管課において事業化され、事業実施中である。
						平成25年8月1日～平成26年10月31日									
総務企画部	高橋 邦武	地域企画課	ゆざわおがら売込み班	備前 俊吾	0183-73-8191	秋の宮観光案内看板緊急撤去事業	平成25年6月13日に発覚した、秋の宮観光案内看板の損傷による周辺施設等への危険防止対応のため、損傷部分(屋根)の緊急撤去作業を実施する。	45,150	直営	損傷部分(屋根)を一時的に撤去した。その後、他予算で設置し、原状回復させた。	県	地域住民等	平成25年6月17日	観光客等に被害を与える前に迅速に対応できた。	今後も定期的に見回りを実施する。
						平成25年6月18日～平成26年6月28日									
農林部	中村 章	森づくり推進課	林業振興班	加藤 幸雄	0183-73-5112	風評被害に立ち向かう「原木しいたけの販売促進事業」	福島原発事故以来、本県産の原木しいたけは市場取引の回復が遅れていることから、地産地消の促進や大消費地における需要拡大に向けた取り組みを行い、風評被害の払拭を図る。	256,260	直営	2013秋のクロッサム「卸町ふれあい市」とタイアップして、雄勝産原木しいたけの安全性をPRするとともに、消費者ニーズを把握した。	県	イベント参加者等	平成25年9月17日	イベント参加者に対し、秋田産原木しいたけの安全性と美味しさをアピールできた。また、秋田スキ間伐材木キット作成により木の良さや「湯沢雄勝」を売り込むことができた。	消費者ニーズを把握する良い機会となり、集客にも貢献できた。今後も試食コーナーや木工体験コーナーの設置が雄勝のPRに有効と思われる。
						平成25年10月7日～平成25年10月20日									
総務企画部	高橋 邦武	地域企画課	ゆざわおがら売込み班	備前 俊吾	0183-73-8191	TIC観光物産展	秋田DCが一過性の誘客事業とならないよう、当該キャンペーン終了間もない時期に、県南3局が連携し「TIC東京」イベントスペースにて観光物産展を開催することにより、首都圏在住者等へのPRを図る。	263,074	直営	秋田DCが終了して間もない3月に、首都圏の方々に対して、仙北・平鹿・雄勝地域の魅力を紹介するための観光物産展を実施した。	県	イベント参加者等	平成25年10月15日	県南3地域振興局及び市町村と連携した観光物産PRを首都圏のお客様に対して実施することが出来た。	単発ではなく、定期的に実施することにより、効果が増大することから、今後も定期的の実施したい。
						平成26年3月5日～平成26年3月7日									
総務企画部	高橋 邦武	地域企画課	地域振興班	小山 智工	0183-73-8191	雄勝の新商品拡大事業(開発商品市場調査)	地域重点施策推進事業において支援した団体が、東急沿線で新商品の販売フェアを実施することから、大消費地における市場関係者や消費者の生の声を取材し、今後の商品の改良等につなげる。	80,244	直営	東急沿線において、羽後町産の新そば「にじゆたか」を使用した新そばフェアが実施されたため、地域振興局担当者が現場を視察し、市場調査を行った。	県	農業法人	平成25年11月18日	大消費地における販売環境や消費者の反応はもとより、新商品を売り込むにあたって、フェア企画者が求めるニーズを把握することができた。今後販路開拓等に取り組む際の参考になるものと思われる。	新商品を大消費地において売り込むにあたっては、知名度と信頼を着実に得ていくことが必要であることから、今回の調査結果を参考のうえ、引き続きPRと販路拡大に向けた取組を継続していく。
						平成25年11月18日～平成26年11月19日									